財団法人　全日本ろうあ連盟
理事長　石野富志三郎　様

台風１８号に関する聴覚障害者支援の要望へのご回答
（平成２１年１０月８日台風１８号の聴覚障害者への支援について）

謹啓

ＮＨＫの放送に貴重な御意見を賜り、誠にありがとうございます。

この度、財団法人全日本ろうあ連盟様から文書「平成２１年１０月８日台風１８号の聴覚障害者への支援について（連本第０９０４３３号）」にて、台風１８号の報道等へのご要望をいただきました件に関し、以下、ご回答申し上げます。

１．緊急災害時においてローカル番組を含むテレビ番組に、「手話通訳と字幕」の付与を行ってください。

災害時の緊急報道はＮＨＫの重要な責務であり、正確な情報をいち早く視聴者にお伝えできるよう努め、聴覚障害者の方々にも必要な情報を正確にお届けする様々な工夫を重ねております。また、ご指摘にあるとおり、字幕を必要としているのは聴覚障害者の方ばかりでない事も認識して放送に臨んでおります。

台風報道に際しては、国民の生命・財産を守る事を公共放送の使命と捉え、可能な限りの情報を早く、的確に伝えることに全力を注ぎます。重要な情報は、聴覚障害者の方々に伝わるよう、また、映像のみをご覧の方にも分かりやすいよう、地図やスーパーなどを随所に使ってお伝えします。最新の台風情報や、交通情報などの地域の情報は、Ｌ字型のスーパー画面を使って視覚的にも分かる伝え方を工夫しております。Ｌ字スーパーでお伝えする情報はアナウンス原稿よりも新しい最新情報を伝える手段となっていると同時に、地域ごとの重要な情報を伝える方法でもあります。

一方で、台風や地震など緊急災害時の特設ニュースの字幕放送の実施には課題も少なくありません。ＮＨＫニュースの字幕放送では、固有名詞や地名などを正確に表示するため、予め字幕ニュースデスクが各オペレーターに参考となる原稿を準備、登録して字幕が正確に表示されるよう努めております。しかし、緊急報道では新しい地名や人名がいきなり飛び込んでくるため、オペレーターの聞き間違いや変換間違いのリスクがあります。特に災害発生時は、お伝えする情報が生命・財産に関わり、間違った情報は混乱を招く危険性もございます。

こうした点に加え、素早いキーボード操作や正しい言葉を使うといった高度な専門能力、さらに緊張感と集中力の持続が求められているオペレーターを予め相当数確保し、地震や台風などの緊急報道に備えて２４時間待機させる体制を組むことは容易ではないことも、ご理解いただければと思います。

緊急災害時の手話放送についても、字幕放送と同様の課題がございます。

ＮＨＫの「手話ニュース」は原稿や字幕の制作、適切な手話表現の検討などに入念に時間をかけて放送しております。手話キャスターは、ＮＨＫ以外の外部の方にお願いしており、そうした方々を予め相当数確保し、さらに地震や台風などの緊急報道に備えて２４時間常時待機させる体制を組むことは、大変困難であることをご理解いただきたく思います。平成１９年７月に起きた新潟県中越沖地震の当日は「ＮＨＫ手話ニュース８４５」を通常より５分間延長して１０分間放送致しました。このような努力は今後も行ってまいります。

ローカル放送の字幕付与も同様に上記の課題があると同時に、全国の放送局に字幕放送のための設備を導入する費用の問題もございます。しかしながら、特に災害発生時においては地域情報がたいへん重要となりますので、新潟中越沖地震の際にはＮＨＫ新潟放送局で地震当日からインターネットのＮＨＫホームページ上に特設ページを立ち上げ、翌日からは地上デジタル放送のデータ放送を活用して被災地の皆様に役立つ最新の生活関連情報「中越沖地震情報」を提供致しました。地域のＮＨＫ各放送局では、テレビ、ラジオの放送に加えて、インターネットやデータ放送を活用して、地震や台風・大雨などの災害時に必要な地域情報をきめ細かく提供するよう努めております。

台風１８号が本州に接近した１０月７日夜間から、８月１１日当日の放送状況を、以下、ご説明致します。

１０月７日夜の「ＮＨＫニュース７」以降、定時ニュースを拡大し、また一部で台風関連の特設ニュースを放送して情報をお伝え致しました。台風１８号関連のニュースで生字幕を付けたものは以下の通りです。

平成２１年１０月７日（水曜日）

ＮＨＫニュース７	生字幕放送	19:00 – 19:32	（　２分枠広げ　計３２分）
ニュースウオッチ９	生字幕放送	21:00 – 22:15	（１５分枠広げ　計７５分）

平成２１年１０月８日（木曜日）

おはよう日本	生字幕放送	07:00 – 07:45	（計４５分）
ＮＨＫニュース	生字幕放送	08:30 – 09:00	（２５分枠広げ　計３０分）
お昼のニュース	生字幕放送	12:00 – 12:40	（２５分枠広げ　計４０分）
ＮＨＫニュース	生字幕放送	13:00 – 13:55	（５０分枠広げ　計５５分）
ＮＨＫニュース	生字幕放送	17:00 – 17:57	（４７分枠広げ　計５７分）
ＮＨＫニュース７	生字幕放送	19:00 – 19:32	（２分枠広げ　計３２分）
ニュースウオッチ９	生字幕放送	21:00 – 22:00	（計６０分）

上記ニュースに対しては枠広げした時間を含めて全てに生字幕を付与致しました。

この時間帯、通常の生字幕放送は２６０分のところ、合計４２６分に字幕を付与致しました。

２．特定非営利活動法人ＣＳ障害者放送統一機構に対し、ローカル番組を含むニュース、その他の必要な情報を速やかに提供して下さい。ＮＨＫは特定非営利活動法人「ＣＳ障害者放送統一機構」と連携することにより、緊急災害時の「手話と字幕」を付加した放送を実施することができます。

ＣＳ障害者放送統一機構様の「目で聞くテレビ」が聴覚障害者の方々の貴重な情報源となっている事は認識させていただいております。

新潟県中越沖地震では、平成１９年７月１７日「ＣＳ障害者放送統一機構」からＮＨＫのホームページに掲載している新潟県中越沖地震関連情報を、統一機構様の独自番組「目で聴くテレビ」の中で字幕と手話で使いたい旨の申し入れを受け、ＮＨＫとして情報の利用に協力させていただきました。今後もこのような機会にはご協力差し上げる事ができると考えております。一方で、緊急報道の際のニュース送出現場は一刻一秒を争って視聴者に情報をお届けする努力を致しておりますので、放送内容の点での連携や放送の実施以外での特定の相手先への情報提供は極めて難しいことは、どうかご理解いただきたく思います。

追記

ＮＨＫは総務省の行政指針を受けて「字幕放送拡充計画」及び「解説放送拡充計画」を策定し、高い目標を設定して平成２０年度からの新たな１０年計画を開始致しました。字幕放送では、生放送を含む字幕付与可能な全ての番組に対して字幕を付ける事を目標とし、今後も着実に障害者向け放送の拡充に努めてまいります。

今回いただいた貴重なご意見は、今後の放送実施にあたって参考にさせていただきます。これからもＮＨＫの放送事業に、ご理解とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

謹白

平成２１年１０月１９日

ＮＨＫ
編成局　計画管理部
東京都渋谷区神南２－２－１
中江　公平　（電話　０３－５４５５－３３０７）